

# ラティナーの南米便り Vol.3

HOLA! (オラ = こんにちは) 平素はラティナー製品をご愛用賜り誠に有難う御座います。  
南米製品を主力商品として取り扱っている当社より、これから定期的に南米の産品のご紹介や現地の様子を皆様にお伝えします。

平成 26 年 2 月

## ニュース

### キヌアとブルーベリー、農業輸出において大きく成長

5年前までは、ペルーでブルーベリーの農園は1ヘクタールもありませんでした。その理由はペルーの気候がブルーベリーの栽培に適していなかったと誰もが思っていたからでした。しかし、2014年は1,000ヘクタールと急成長し、国際的にも価格競争のあるフルーツとなりました。同じようなことがキヌアでもおきました。2009年の34,000ヘクタールに比べ2014年は68,000ヘクタールまで拡大しました。このような成長はカカオやミカン、アボカドにも見られました。専門家によると、これらは世界的に栄養価の高い食品の需要が増えているとの見方があります。



れています。また、多くの研究結果も存在しており、中国の伝統医療においては肝保護に最適の植物であると言われており、B型肝炎の患者に非常に有効だとされています。この植物の名前がチャンカピエドラ (STONE BREAKER) であるように、最も優れた効能はやはり尿結石を取り除くものであるが、それだけでなく結石を防ぐ力もあります。

### 効能

- 小胞や肝臓の結石を取り除く自然療法。
- 尿路の炎症を抑える作用。特に膀胱炎。
- 体内に溜まった液体を排除し、炎症を抑えることから前立腺や高血圧を正常な状態にする作用。
- リウマチや関節炎、関節痛、筋肉痛 B型肝炎、糖尿病などを改善。
- 尿酸を減らし、咳を和らげる効果や肺炎・喘息にも効果がある。

### ヌエス・デル・ブラジル (*Bertholletia excelsa*)



ヌエス・デル・ブラジル (ブラジルのクルミ) は自生している樹木の実であり、ブラジル、ボリビア、ペルー、ベネズエラ、コロンビアのアマゾン地帯に自生しています。しかし、商業的に使われるのはブラジル、ボリビアとペルーのみです。

ペルーのアマゾン地帯では古くは 800~1,200 年前のものも発見されています。そのまま食べたり、スナック感覚で食べたり、皮ごと、皮なし、アイスに、チョコレート、パン、デザートなどに使われます。このクルミは栄養価にも優れており、セレン、マグネシウム、チアミンなどが豊富に含まれています。栄養成分組成は、タンパク質 (14%)、炭水化物 (11%)、脂質 (67%) となっています。

### 薬用植物の紹介

#### CHANCAPIEDRA チャンカピエドラ (*Phyllanthus niruri*)

チャンカピエドラは右の写真の通り小さい葉の草本植物であり、熱帯気候の地域で自生します。世界各国で見つけることができます。この植物は尿結石を取り除くことで知ら



### 南米のバレンタインとカーニバル



エクアドルのカーニバルは、粉やコーンスターチを顔に塗り水や泡を使用し濡らし合うイベントであり、お面をかぶった人々が音楽を流しダンスをしたりもするイベントです。隣人同士が互いに濡らし合おうとあまりにも必死になり、時にはトラブルになったりもします。

ブラジルでは、リオのカーニバルを控え様々な準備が行われます。サンバのスクールがあったり、Sambodromo というカーニバルの出演者が通る 550m の道を作ったりと忙しくなります。リオカーニバルは 6 日間に亘って行われダンサーやフロート車がその Sambodromo を通ります。



ペルーでは 2 月いっぱいカーニバルであり、主に子供が楽しみにするイベントです。水風船を投げ合ったり、水たっぷりのバケツで街行く人を濡らしたりして遊びます。

